

平成 25 年 6 月 17 日

ISO(国際標準化機構)に

「ファインバブル技術に関する新たな専門委員会」を設立しました

日本工業標準調査会(事務局:経済産業省)は、我が国が技術的な強みを有するファインバブル技術に関する国際標準を主導的に策定していくため、ISO(国際標準化機構)に新たな専門委員会(Technical Committee/以下 TC)の設立を提案し、この度、ISO で設立が承認されました。
本提案は、昨年度創設されたトップスタンダード制度に基づき行ったものです。

1. 概要

我が国が開発・実用化を先導しているファインバブル技術(百マイクロメートル以下の微細な気泡を扱う技術)は、高性能な洗浄水としての利用や積層ウエハ分離装置での利用等、様々な用途で活用が広がっています。ただし、工業利用の前提となる定義、測定方法、性能評価法などの標準化や認証方法が確立しておらず、国際的な製品・技術の普及を図る上で課題となっています。

このような中で、日本工業標準調査会(事務局:経済産業省)は、我が国企業が技術的な強みを有するファインバブル技術に関する国際標準を主導的に策定していくため、ISOに我が国発となる新たなTCの設立提案を行い、この度、TC281(ファインバブル技術)の設立及び本TCの国際幹事を日本とすることが承認されました。

このファインバブル技術に関するTCの設立提案は、一般社団法人微細気泡産業会が、2012年度に新たに創設された迅速な国際標準化提案を可能とするトップスタンダード制度を活用して行ったものです。

2. 今後のスケジュール

今後、我が国が本TCの国際幹事として、ファインバブル技術の新規提案等を行い国際標準化を進めて参ります。

(本発表資料のお問い合わせ先)

産業技術環境局産業基盤標準化推進室長 内田

担当者: 斉藤、桑原

電話 :03-3501-1511(内線 3423)

03-3501-9277(直通)